

令和 7 年度 東京都立保谷高等学校 学校経営計画

東京都立保谷高等学校
校長 石丸 昌延

1 目指す学校

教育目標「知性高く、人間味豊かに、心身ともに健康な人を育成する」

●スクールミッション

知性高く、人間味豊かに、心身ともに健康な人を育成し、知・徳・体を兼ね備えた人間性を高めます。継続的で地道な努力・忍耐力・突破力を重視する「心」の教育を実践し、進路希望を実現するために一人一人の生きる力を向上させます。

◆グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

「知性」を高める～知を磨く～
「人間味」豊かにより善く生きる～心を育てる～
「心身」とともに向上しようとする～体を鍛える～

◇知識及び技能

- ・基礎学力 基礎基本となる知識や概念を理解し定着させ、必要な技能(読み書き計算、情報リテラシー等)を正しく習得し活用できる。
- ・情報読解力 文章やグラフ、図表などから課題解決に必要な情報を取り出し、正確に読み解ける。
- ・体力向上力／健康保持力 生涯にわたって様々な運動を行う技能および健康を保持するための知識を正しく習得し活用できる。

◇思考力、判断力、表現力等

- ・情報活用力 課題や目的に応じて情報を収集した上で、内容に応じた取捨選択やその表現方法について適切に判断し活用できる。
- ・論理的思考力 帰納的・演繹的・類推的な思考を組み合わせ、物事を体系的に整理し矛盾や飛躍のない筋道を立てられる。
- ・発信力 自らの思考等について文章化や図表化を適切に行い、わかりやすく相手に伝えられる。

◇学びに向かう力、人間性等

- ・自己管理能力 自らの課題を把握し目標を設定した上で、計画を立てて行動し自己評価に基づき改善を図ることができる。
- ・主体的行動力 身のまわりの現象等から課題を発見し、自らの意思や判断によって課題解決へ向けて行動できる。
- ・調整力・協働力 課題解決へ向けて様々な人の意見に耳を傾け、相手の立場を尊重した上で適切に相互協力することができる。

◆カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- ・よく学び、よく考え、善く行動する人を育成するために生徒主体の教育を行う。
- ・心を育て、人間性を向上させるとともに、何事にも全力で取り組む生徒を育成する。
- ・生徒の高い進路希望を実現するために、学習指導および進路指導を行う。
- ・国際社会に対応し、多様な人々と意思疎通が図れる生徒を育成する。
- ・学習活動と特別活動（学校行事や部活動等）とのバランスをとり、全ての教育活動を通じて豊かな人間性を育む。

◆アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

保谷高校は、教育目標「知性高く、人間味豊かに、心身ともに健康な人を育成する」に基づき、生徒主体の教育活動を実践することで、知・徳・体を兼ね備えた人間の育成に努めてきました。その結果、生徒の夢を実現させる高校として着実に歩んでおり、地域からの信頼は年々高まっています。そこで、次のような生徒の入学を期待します。

- ・大学進学をはじめ、自らの進路についてよく考え、主体的に学習に取り組む生徒
- ・本校志望の意志が強く、学習と部活動や生徒会活動、委員会活動及び学校行事が両立でき、かつ、それらに積極的に取り組むことができる生徒
- ・本校の教育目標と教育内容、伝統と校風をよく理解し、ルール・マナーをしっかりと守る心構えのある生徒

2 中期的目標

- 1 生徒の目標の実現と社会性の伸長を支援する、文武両道（学習と行事・部活動）を力強く推進する学校
- 2 誰一人取り残さず、すべての生徒が将来への希望をもって活動できる学校

(1) 学習指導

生徒の学習意欲、探究心、思考力・表現力、国際感覚を育成するために学習活動のあらゆる場面において、生徒が活躍する授業を目指す。そのために個別最適な学びと協働的な学び、主体的・対話的な深い学び、デジタルとリアルの最適な組み合わせを展開し、生徒の基礎学力の定着を図る。

(2) 進路指導

生徒が希望する進路選択を実現するために、組織的・計画的な進学指導体制、3年間を見通したキャリア教育を推進する。加えて社会の形成に主体的に参画する資質・能力を育てるとともに、力強く未来を切り拓く力を育む。

(3) 生活指導

基本的生活習慣の定着を基盤として、個性や強みを伸長し自ら伸びようとする意欲を高める。行事や委員会活動を通して、他者への共感や思いやりを持つとともに、自己を確立し多様な人々がともに生きる社会の実現に寄与する人材を育てる。

(4) 広報活動

組織的な募集対策体制によって、本校および都立学校ならではの強みを積極的に発信し、都立高校の魅力を発信する。加えて、中学生・保護者・地域の方々の本校への理解と関心を高め信頼の安定を目指す。

(5) 安全健康

生徒が生涯にわたる心身の健康維持・増進、および防災・防犯・安全について考え、判断、行動できる力を育成し、全ての生徒が安心して通える学校環境を創る。

(6) 学校組織

適正な学校経営と地域連携強化、人材育成と働き方改革を推進し、適正な予算編成執行と施設設備の改善に努め、学校組織力、運営力を強化する。

3 今年度の取組と方策

1 学習指導

(ア) 個別最適な学びと協働的な学び

【個別最適な学び】 オンライン学習・オンデマンド教材の活用、個々の習熟度に沿った学び、自習および家庭学習時間の確保、課題設定型の探究的な学び 等

【協働的な学び】 ペア学習、グループ学習、教えあい、話し合い、ディベートなどの対話型授業、チーム・団体・地域・学校行事による活動、オンラインによる交流 等

(イ) 主体的・対話的な深い学び

【主体的な学び】 生徒自らの課題設定とP D C A(計画・実践・チェック・改善)サイクルの実施、学習に対する内発的動機付け、目標の明確化と自覚化、自習環境の整備 等

【対話的な学び】 意見交換・話し合い・協働・議論、生徒同士、生徒と教師、生徒と地域住民、異学年との交流 等

(ウ) デジタルとリアルの最適な組み合わせ

【デジタル】 インターネット上の情報のリサーチ、プレゼンテーションの作成、AI技術の活用、動画視聴、課題の配信提出 等

【リアル】 相手の表情を読み取りながらの交流、言葉の抑揚を感じながらのコミュニケーション、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能、実技・体験を重視した活動 等

(エ) グローバル人材育成

【英語力の育成】 英語4技能の向上、J E T及びA L Tの活用 TGG 英語体験 等

【G E - N E T E E】 オンライン英会話、語学検定試験の活用 等

【学校間交流推進校】 海外修学旅行、留学生との交流、異文化理解 国連大学との連携 等

(オ) その他

学習習慣の確立、基礎学力の定着、生徒が活躍する授業、I C T機器の積極的活用、教員相互の授業参観、指導教諭による模範授業・指名制授業研究への参加、生徒による授業評価 等

2 進路指導

(ア) 組織的・計画的な進学指導体制

【進学指導研究校】 模試受験準備と振り返り指導、教科主任会・教科会の充実、進学に関する校内研修の実施、進学指導研究校拠点校としての他校との連携、共通テスト解説講習の実施、模試分析会の公開 等

(イ) キャリア教育の推進

進路情報提供、個別指導の充実、探究活動のより一層の進展、著名人による文化講演 等

(ウ) その他

長期休業中の講習実施、共通テスト解説講習の実施、自習室・自習スペースの設置 等

3 生活指導

(ア) 基本的な生活習慣・規範意識の定着

服装・身だしなみ指導、遅刻指導、挨拶指導、SNS 使用指導、学習と部活動の両立
他者理解 等

(イ) 個性や強み、積極性の伸長とリーダーの育成

生徒主体による学校行事・委員会活動、部活動活性化、東京都教育委員会主催の行事への生徒派遣等

(ウ) 人権尊重の精神

多様性・共生社会の尊重、他人への思いやり涵養、いじめ・体罰防止の取組、特別支援教育・インクルーシブ教育の実施 等

(エ) その他

校内教育相談体制の確立、生徒個別面談の実施、スクールカウンセラー活用、個別指導計画の作成、保護者との情報の共有、「学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドライン」の遵守 等

4 広報活動

(ア) 組織的な募集対策

学校説明会、授業公開の充実、PR 事業への協力、塾主催による学校説明会への参加、中学校訪問・塾訪問の実施、ホームページの充実、部活動体験の実施、生徒の積極的活用、効果的な演出、生徒の活動状況掲載、グラウンドデザインの活用 等

(イ) 保護者への確実な情報提供

保護者コミュニケーションツール(Classi)と紙媒体によるハイブリッド型周知 等

5 安全・健康

(ア) 心身の健康維持・増進

面談・SC・保護者との連携等による生命に関わる事故の未然防止、エピソード・嘔吐等対応教職員研修、熱中症と感染症の予防、校内美化の推進、通学時の安全指導、自転車ヘルメット着用率の向上、薬物乱用防止等セーフティ教室、教育相談センターと連携、いじめ対応サポーター活用 等

(イ) 防災・防犯

避難訓練・防災訓練実施、スクールサポーターとの連携、盗撮・ネット犯罪防止指導 等

(ウ) その他

生徒の体力向上 「TOKYOACTIVE PLAN for students」を参考に、健康的な生活スタイル確立、スポーツライフの推進 等

6 学校組織

(ア) 学校経営と地域連携強化

服務事故防止研修、コンプライアンス徹底、職員室と経営企画室連携、経営目標に基づく企画室参画、組織的 PDCA サイクル徹底、企画調整会議が柱の学校運営、学校運営連絡協議会、防災教育推進委員会、地域行事への参加、人材育成と働き方改革の推進、PTA 及びむらさき会との連携 等

(イ) 予算編成執行と施設設備の改善

計画的な予算執行と管理、生徒の教育活動を優先した予算編成、汚損箇所修復 等

(ウ) その他

教職員の心身の健康維持・増進、教職員アウトリーチ型相談事業実施 等

4 重点目標

重点目標1 上記1 学習指導（ア） 個別最適な学びと協働的な学び

誰一人取り残さず、すべての生徒が学べるよう、一人ひとりの生徒の状況に応じたきめ細やかな教育を充実させるとともに、デジタルとリアル融合、インクルーシブな教育、国際感覚を磨く教育を展開する。

重点目標2 上記2 進路指導（ア） 組織的・計画的な進学指導体制

進学指導研究校の拠点校として個々の生徒の学力を把握するとともに、教科主任会、教科会を通して、生徒の学力を伸長する。また模試分析会の公開、および進学指導について他校を指導・情報共有することにより本校の進学指導に資する。

重点目標3 上記6 学校組織（ア） 学校経営と地域連携強化

学校が健全に機能し力強く推進するために、全教職員の心身の健康と知識・経験、協力体制が必要である。そのために、業務の精選と働き方改革を継続するとともに人材育成に努め、規範意識をもって業務を遂行する。また地域の関係各所と綿密な連携をとることで、地域の共同体の一翼として地域貢献する。

5 数値目標

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度目標
教員相互の授業参観 延べ回数	▼382回	△543回	▼420回	150回
授業満足度 (学校評価アンケート)	△79.8%	▼76.9%	△78.2%	80.0%
英検準2級以上合格者数	▼101名	▼87名	△383名	400名
夏期冬期講習受講者数 (延べ)	▼3384名	▼3023名	△3319名	3350名
生徒の1日平均学習時間 (平日 9月)	1年 ▼48分 2年 △53分	1年 ▼30分 2年 △36分	1年▼30分 2年▼27分	1年 60分 2年 80分
外部模試(1月実施) 偏差値	1年 △46.4 2年文 ▼45.9 2年理 △43.7	1年 △47.3 2年文 △46.1 2年理 ▼43.5	1年 ▼47.0 2年文 △46.9 2年理 △45.0	1年 ▼48.0 2年文 △48.0 2年理 △46.0
大学入試センター試験 (共通テスト) 英語偏差値	△52.7	▼47.1	▼42.9	45.0
現役進路決定率	△94.8%	▼88.0%	△93.6%	95.0%
4年制大学 現役合格者数	△610名	▼544名	▼497名	520名
国公立大学 現役合格者数	△4名	▼1名	△8名	6名
私立大学現役合格者数 (早慶上智理科)	△7名	▼2名	▼3名	3名
私立大学現役合格者数 (GMARCH)	△36名	▼35名	▼22名	21名

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度目標
私立大学現役合格者数 (成成獨国武明学)	△57名	▼53名	▼30名	30名
私立大学現役合格者数 (日東駒専)	▼83名	△97名	▼73名	105名
年間遅刻延べ回数	▲4235回	▲4423回	▲5291回	4000回
特別支援教育に関する 委員会の開催回数	△28回	▼14回	△18回	15回
統一体力テスト 体力合計平均値	△55.9	△56.8	▼49.9%	52.0%
部活動加入率	▼92.0%	△95.0%	▼90.0%	92.0%
学校満足度(生徒) (学校評価アンケート設 問「自分を高めてく れる学校か」)	△64.2%	▼55.1%	△59.1%	65.0%
学校満足度(保護者) (アンケート設問「子ど もは保谷高校に通っ て成長したか」)	▼79.6%	▼61.3%	△84.1%	85.0%
体育祭、文化祭来場者数	△1739名	△4232名	△5120名	5000名
学校説明会参加者数 (本校実施分)	△1674名 (人数制限実 施)	△1678名	△1817名	1900名
中学校進学対策委員会 志願倍率	△1.29倍	△1.51倍	▼1.23倍	1.40倍
入学選抜応募倍率 (推薦・一次募集)	推薦△3.32 倍 前期△1.43 倍	推薦▼3.16 倍 前期△1.70 倍	推薦3.30倍 ▼2.92倍 前期1.50倍 ▼1.40倍	推薦3.30倍 一次1.50倍
ホームページ更新回数	△348回	△772回	▼447回	350回
一般需用費 センター執行率	△45.8%	△49.5%	▼46.8%	50.0%